

令和2年
4月19日執行

伊豆市長選挙公報

伊豆市選挙管理委員会

私山田克夫は、4月12日告示の伊豆市長選に立候補します。世の中、コロナによる第2のリーマンショックが到来するといわれています。私の公約、第1は、伊豆市の財政健全化です。市の特別職定員をスリム化して、経費を最低50%削減をします。役所員は業務の、効率化を推進することにより、毎年15%程度の人員削減を重ね、ローコスト市政を実現させます。市長、市議、市役所員、外注の業務を厳正に、勤務評価し、永年蓄積された、無駄なごみを整理整頓します。役所は条例を作業のベースにします。メンテをきちんとしないと、見えない負債を大きく抱えることとなります。ケチに徹する一方、市民に必要な施策をします。安くておいしい公営食堂の開設、悪徳業者に騙されないためのIT教室、無料もしくは廉価な法律相談、ボランティアによる外国語教室、サークル、健康についての勉強会等、市民がすぐにでも、受けたいサービスが多々あります。私は、伊豆市で理想的な市政を実現して、国政にも、もの申し上げていきます。国政で辛抱しがたい最たる件は原発と医療です。原発は自然に自己成長し、要員の制御の範疇を超えてしまいます。そして、暴走したら、だれも手に負えません。今度は、東電は東芝と組んで、原発事業を再興しようとしている。さらに郵便局ほどの国家威信象徴企業まで、変な保険業務をしました。伊豆市は昔の重厚長大健全なモラルのある町づくりをしましょう。そして、広く、世にもアピールして、明るい社会づくりに貢献していきたいと思います。今回、リーマンショック以上の危機到来です。私は、あの時の強烈な苦しい経験を、果敢に、市政に生かします。この難局を立派に乗り越えます。私にお任せください。

わたしの主張は <http://new-izu.net> ご覧ください。



山田克夫

伊豆市の財政は健全です！
選挙に行って、信頼できる
『菊地ゆたか』に任せよう！



常に市民と地域を考える！
これから さらに頑張ること
—今は、新型コロナウイルス対策に全力投球—



菊地ゆたか

人口減少対策

- 経済格差と教育を切り離し、公平な教育をめざします
- 少子化対策を強化し、次世代を担う人材を育成します
- ◆子育て世代に魅力あるまちづくりと妊娠・出産・子育てまでの支援を強化
- ◆時代に対応した教育環境の整備（新中学校の建設等）
- ◆幼児教育・初等教育の質を高め、授業外の学習システムを導入
- 移住希望者への情報発信受け入れ態勢を強化します
- 若者定住促進補助金（住宅補助事業）を継続します
- 都市機能の集約を図ります
- ◆例・修善寺駅を中心に、にぎわいと回遊性のある拠点づくりと牧之郷駅を核にした住宅地の開発を促進

安全安心なインフラ整備

- 安全で心地よい生活環境整備を進めます
- ◆人口流出を抑制し、移住政策の強化 ◆中伊豆温泉病院の市内移転を着実に支援 ◆伊豆日赤病院の救急受け入れ維持と市内病院・診療所の連携を強化支援 ◆高齢者・障がい者・外国人が生きがいをもてるまち
- 市民の安心安全につながるインフラを整備します
- ◆例・市道矢野橋線を改良して、救急車の通行を可能にする 他
- 防災・環境・観光のパラメータが取れたまちづくりを推進します
- ◆例・御幸橋の架け替え等々、産業振興に寄与するインフラ整備

産業力の強化

- 観光業・商工業・農林業を強化し、雇用環境の改善に努めます
- ◆インバウンドなど新たな観光需要の掘り起こし ◆市内企業の競争力と経営基盤の強化、事業用地と従業員確保を支援 ◆伊豆縦貫道を活用し新たな企業誘致を推進 ◆空き公共施設等の有効活用を推進
- ◆森林整備・林業の振興を図り、地元資源を活かす産業を創出

魅力あるまちづくり

- 地域の振興に役立つ魅力あふれる拠点づくりを進めます
- ◆伊豆市の魅力を発信する「アイランド」の強化とブランド力の向上
- ◆「海と共に生きる」文学の郷「わさびの郷」など、歴史と伝統を大切にしましたまちづくり
- ◆住民が主役の地域づくり協議会活動を支援
- ◆東京2020大会をチャンスとして国内外からの誘致促進、さらに国籍・性別・年齢・障がいの有無を超えた多様性を受け入れるまちづくり

行政改革と財政健全化

- 行政の改革・合理化をさらに推進し、財政の安定を図ります
- ◆老朽化した市有施設の整理統合や職員のスエルトアップにより、市民の行政サービス確保 ◆市有施設の運営について民営化・民間委託を活用し、新たな技術革新を導入
- ◆長期財政シミュレーションに基づき、財政の健全度を不断にチェック
- ◆税金など歳入増加につながる施策を積極的に展開

市民本位のあたりまえの市政をとりもどす！

鈴木まさとの市政5策

- ①市民とともにつくる市政への転換と適正な財政運営
- ②市民ぐるみで支える教育環境の充実
- ③市職員が力を発揮できる環境づくり
- ④地域の資源を活かしてまちの活力を取り戻す
- ⑤暮らしに寄り添い共に生きる社会の実現

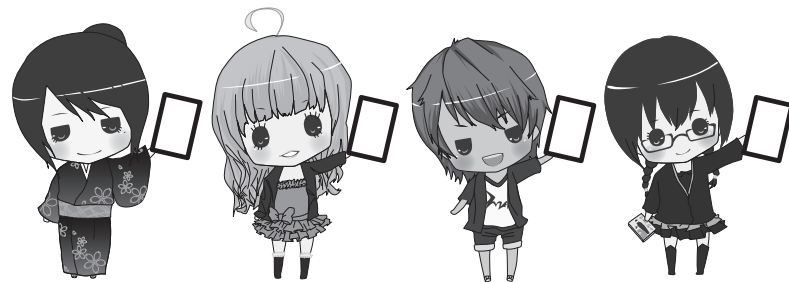


鈴木まさと

その一票 未来を変える 第一歩

伊豆市長選挙

投票日は



4月19日 日

投票
時間

午前7時から午後8時まで
(土肥地区は午後7時まで)

*投票日に仕事やレジャー等で用事がある方はもちろん、用事がない方でも新型コロナウイルス感染症への感染が懸念されるという理由で

『期日前投票』ができます。

| | 場 所 | 期 間 | 時 間 |
|-----------------------|-----------|-----------------|------------------|
| 期 日 前 投 票 | 伊豆市役所(本庁) | 4月13日(月)~18日(土) | 午前8時30分 ~午後8時 |
| | 中伊豆支所 | 4月14日(火)~18日(土) | |
| | 天城湯ヶ島支所 | | |
| | 土肥支所 | | |
| | 修善寺駅構内 | 4月14日(火)~16日(木) | |

*投票日の投票所は、入場券に記載されている投票所ですので御注意ください。

投票所内でのマスクの着用や咳エチケット、投票所から帰宅後の手洗い・うがいに御協力ください。

伊豆市選挙管理委員会 電話 72-9869